先週は天気が大きく荒れ、札幌においてもすっかり冬景色となりました。

さて、本日 12 月 24 日は「学校給食記念日」です。クリスマスと被っていることもあり、 あまりイメージがないかもしれません。

文部科学省では冬季休業と重ならないよう、一ヶ月後の1月24日から1月30日までの1週間を「学校給食週間」と定めています。

この期間は全国各地で地場産物を使用した献立や郷土料理が登場するなど、給食に関する様々な取組が行われています。

以下の URL にて日本全国で提供されている学校給食の中から、その土地の郷土料理や特産品などを取り入れたものを一部紹介しております。

地域毎の特色が色濃く出ているメニューが多く、見ていてとても楽しいですね。

【農林水産省 HP ふるさと給食自慢。】

https://www.maff.go.jp/j/pr/aff/food_bcnm.html

また、今回は「食かけるプロジェクト」バーチャルトリップのアーカイブ視聴を含む3項目をご紹介いたします。

ご興味のある項目がありましたら、是非ご覧ください。

【目次】

1. 農林水産省 「食かけるプロジェクト」バーチャルトリップ(蔵人ステイ)(海女小屋)

2. 文化庁 第2回「我が家のお正月料理」フォトコンテストについて

3. 和食会議 第7回交流会「1204和食セッション」開催報告

1. 農林水産省 「食かけるプロジェクト」バーチャルトリップ(蔵人ステイ)(海女小屋)

農林水産省が実施しております食かけるプロジェクトの情報発信の取組のひとつとして、受賞地域を舞台としたバーチャルトリップを実施中です。

【アーカイブ配信】

過去に配信いたしました「海女小屋 はちまんかまど(三重県鳥羽市)」及び「KURABITO STAY(蔵人ステイ)(長野県佐久市)」のバーチャルトリップの様子を、以下の URL にて

ご覧いただけます。全編英語での配信となりますが、ご関心のある方はぜひご覧ください。

・「海女小屋 はちまんかまど(三重県鳥羽市)」12月11日(土)配信 https://www.youtube.com/watch?v=zg2i0R4X5jE

1,000 年以上前からウニやアワビ、ホタテなどの海産物を獲り続けてきた海女さんたちが案内するツアーです。海女さんの体験談や、海女さんが使っていた伝統的な衣装や道具を見ながら、獲れたての魚介類を焼いていただきます。

- 「KURABITO STAY (蔵人ステイ) (長野県佐久市)」12月18日(土)配信 https://www.youtube.com/watch?v=pA3iwTafXZ8

長野県佐久市にある300年以上の歴史を持つ本物の酒蔵を、「KURABITO STAY」の案内で訪ねます。日本有数の米どころであり、清らかな水源に恵まれた佐久では、300年の伝統を誇る酒造りが営まれています。実際の酒蔵でプロの手ほどきを受けながら、世界にひとつだけの酒造りを体験してみてはいかがでしょうか。

2. 文化庁 第2回「我が家のお正月料理」フォトコンテストについて

1. 概要

お正月は、日本人にとって最もなじみの深い年中行事であり、お節料理や雑煮などの お正月料理を通して、家族や地域の絆を深める機会でもあります。

この機会をとらえ、身近な食文化について考え、学ぶきっかけとなるよう、「お正月料理」をテーマにしたフォトコンテストを開催します。

昨年に続き2回目の開催となる今年度は、2021年12月に「伝統的酒造り」が無形文化財に登録されたことを記念し、「國酒と味わうお正月料理」というテーマを設け、日本独自の食文化を応援します。

注※: 國酒(こくしゅ)とは、日本酒、本格焼酎・泡盛、本みりんの総称

2. 募集内容

郷土の伝統的な「お正月料理」、各家庭に伝わるユニークな「お正月料理」など、応募テーマに沿った写真とメッセージを Instagram 上で募集。

- 3. 応募テーマ
- (1) 郷土の伝統的なお正月料理
- (2) 國酒と味わうお正月料理
- (3) 各家庭に伝わるお正月料理
- (4) ユニークなお正月料理

4. 応募期間

令和3年12月15日(水)~令和4年1月12日(水)

https://www.bunka.go.jp/gyoji/93616001.html

3. 和食会議 第7回交流会「1204和食セッション」開催報告

和食会議は、12月4日(土)、全国「和食」連絡会議第7回交流会「1204和食セッション」~次代に繋ぐ和食の集い~を、秋葉原の富士ソフトアキバプラザで開催しました。

「和食セッション」は、「和食」がユネスコに無形文化遺産として登録された 2013 年 12 月 4 日にちなみ、2015 年より毎年 12 月 4 日に開催しています。

第7回となる本年は、昨年同様、新型コロナウイルス感染への対応として、会場の定員 を限定して、インターネットによる同時配信を行いました。

本年の参加者は会場82名、インターネット44名の126名でした。

服部幸應全国「和食」連絡会議議長による開会宣言、来賓の農林水産省 永濵 享食文化 室長のご挨拶があり、その後、服部議長の基調講演と和食と日本酒をテーマに2名の方 にご講演いただき、その後、パネルディスカッションが行われました。

https://washokujapan.jp/info/info-20211213-2/

北海道地域の和食文化ネットワークの事務局

窓 口:北海道農政事務所 生産経営産業部 事業支援課

住 所:札幌市中央区南 22 条西 6 丁目 2-22 エムズ南 22 条第 2 ビル

電 話:011-330-8810 FAX:011-520-3063

<本省の Web サイト(和食文化ネットワーク)>

https://www.maff.go.jp/j/keikaku/syokubunka/network/main.html

<北海道農政事務所の Web サイト>

https://www.maff.go.jp/hokkaido/

くその他>

北海道農政事務所や農林水産省では、このほかにもメールマガジンを発行しております。 配信をご希望される方は、ご登録をお願いします。

・北海道農政事務所メールマガジン

https://www.maff.go.jp/hokkaido/merumaga/index.html

本省メールマガジン

http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/index.html